

メッセージ 4

まことのぶどうの木としてのキリストの中に住む

聖書：ヨハネ 15:1, 4-5, 7. I ヨハネ 2:6, 27-28. 3:24. 4:13, 15. ローマ 8:4

I. 主イエスは、「わたしはまことのぶどうの木であ[る]」と言いました——ヨハネ 15:1 前半. 参照、啓 14:18 :

- A. このまことのぶどうの木（御子）とその枝（御子にある信者たち）は、神のエコノミーにおける三一の神の有機体です。
- B. この有機体は、彼の豊富をもって成長し、彼の神聖な命を表現します。

II. ぶどうの木の枝として、わたしたちはぶどうの木の中に住む必要があります——ヨハネ 15:4-5 :

- A. 主の中にいることは結合の事柄です。主の中に住むことは交わりの事柄です——I コリント 1:9, 30。
- B. わたしたちがぶどうの木であるキリストの中に住むことは、わたしたちがぶどうの木の枝であるという明確なビジョンを見ることにかかっています。わたしたちはひとたび、自分がぶどうの木の枝であることを見るなら、わたしたちと主との間の交わりを維持する必要があります——ヨハネ 15:2。
- C. クリスマン生活は、主の中に住む生活です——I ヨハネ 2:6, 27-28. 3:24. 4:13, 15。
- D. わたしたちがキリストの中に住むことは、彼がわたしたちの中に住むこと条件です——ヨハネ 15:5 前半。
- E. ぶどうの木から離れるなら、わたしたちは無であり、何も持たず、何もすることができません——5 節後半。
- F. 枝がぶどうの木の中に住んではじめて、ぶどうの木は枝にとってすべてとなることができます。

III. わたしたちがキリストの中に住み、彼にわたしたちの中に住んでいただくことは、すべてを含む油塗りの内側の教えを顧慮することによります——I ヨハネ 2:27 :

- A. わたしたちがキリストとの神聖な交わりの中に住むのは、主の血の清めを経験することによって、また油塗る霊をわたしたちの内なる存在に適用することによります——ヨハネ 15:4-5. I ヨハネ 1:5, 7. 2:20, 27。
- B. かしらとしてのキリストは、油塗られた方であり、油塗る方でもあります。わたしたちは彼の肢体であって、彼を内なる油塗りとして享受し、彼の定められた御旨を完成します——ヘブル 1:9. 3:14. II コリント 1:21-22。
- C. 油塗りは、わたしたちの内側にある複合の霊の動きと働きであり、神をわたしたちの中へと油塗ります。それによってわたしたちは、神で浸透され、神を所有して、神の思いを理解します。油塗りは、からだのかしらであるキリストの思いを彼の肢体に伝えます。それは命の内なる感覚、内なる知覚によります——詩第 133 篇. I コリント 2:16. ローマ 8:6, 27。

IV. 主の中に住むことは、彼と一つ霊になること、すなわちミングリングされた霊の中で生きることです——I コリント 6:17 :

- A. 新約の本質は、二つの霊、すなわち神の霊と人の霊が、共にミングリングされて一になることです——17節. ローマ8:4。
- B. この二つ霊の結合は、聖書における最も深い奥義です。
- C. 「一つ霊」という表現は、その霊である主とわたしたちの霊とのミングリングを示しています——Iコリント6:17:
1. この霊（わたしたちの霊と主の霊とがミングリングされて一つ霊となっている）は、主の霊であり、またわたしたちの霊でもあります——ローマ8:4. IIコリント3:17. Iコリント15:45。
  2. わたしたちのすべての霊的経験、すなわち、わたしたちが主と交わること、主に祈ること、主と共に生きることなどは、このミングリングされた霊の中にあります。
- D. 神のエコノミーの焦点は、ミングリングされた霊、すなわち、神の霊と人の霊とのミングリングです。神が行なおうとすること、達成しようとすることは何であれ、この焦点と関係があります——エペソ3:5, 9. 1:17. 2:22. 5:18. 6:18:
1. わたしたちは主と一つ霊になることによって、彼をすべてを含む方として経験することができます——Iコリント1:2, 24, 30. 2:7-8, 10. 3:11. 5:7-8. 10:3-4. 11:3. 12:12. 15:20, 23, 45, 47。
  2. わたしたちがキリストを経験し、キリストをすべてとすることができるのは、わたしたちが彼と一つ霊になっているからです。
  3. 主と一つ霊であるすべての人にとって、供給は無尽蔵です。
- E. ミングリングされた霊とは、神と一つ霊である霊、また神格においてではなく命と性質において神と同じである霊です——Iヨハネ5:11. IIペテロ1:4:
1. 神聖な霊と人の霊は、わたしたちの内側でミングリングされて一となっています。それは、わたしたちが、神・人の生活、すなわち、神であるが人であり人であるが神である生活をするためです——ガラテヤ2:20. ピリピ1:19-21 前半。
  2. 神・人の生活とは、二つ霊が共に結合されミングリングされて一となった生活です。
- F. 主と一つ霊であることが暗示しているのは、わたしたちが彼の中におり、彼がわたしたちの中において、わたしたちと彼が命において一であるということです——ヨハネ3:16. Iヨハネ5:12。
- G. 正常なクリスチャンとなるために、わたしたちが認識しなければならないことは、主イエスが今日、三一の神の具体化としてその霊であって、わたしたちの霊に内住しており、わたしたちの霊とミングリングされているということです——IIコリント3:17. Iコリント15:45. 6:17。
- H. 聖書が要求していることは、わたしたちがミングリングされた霊にしたがって歩くことです——ローマ8:4:
1. すべての事のかぎは、すばらしい霊の中に見いだされます。彼はわたしたちの再生された霊の中におり、わたしたちの霊と一つ霊になっています。
  2. 霊の中で生きるとは、キリストにわたしたちを満たし浸透していただいて、つ

いに彼がわたしたちの全存在を飽和し、こうしてわたしたちを通して表現されるに至ることで—エペソ 3:17。

3. ヨハネ第 15 章 4 節から 5 節の相互に住み合うことは、主と一つ霊であることを実行することです。

**V. 効力のある祈りは、わたしたちが主の中に住み、主の言葉がわたしたちの中に住んだ結果です—ヨハネ 15:7 :**

A. 祈りとは、人が神と協力し、神と同労し、神に人を通してご自身を表現していただき、こうして神の定められた御旨を完成していただくことです。祈る人は、神と協力し、神と同労して、自分の内側から、また自分を通して神にご自身とご自身の願いを表現していただきます—ローマ 8:26-27. ヤコブ 5:17 :

1. 祈りとは、人と神の間の交流であり、人と神の間の相互の接触です。
2. 祈りの真の意義は、わたしたちの霊の中で神と接触し、神ご自身を吸収することです—エペソ 6:18。
3. 内住するキリストを経験し、キリストを生きる方法は、真実な方法で祈ることです—コロサイ 1:27. 3:4. ピリピ 1:20-21 前半。
4. わたしたちは、自分たちを主との接触の中へともたらしような祈り、またわたしたちの霊の中で主と一にならせるような祈りを必要とします—II テモテ 4:22. I コリント 6:17。

B. わたしたちが主の中に住み、主の言葉がわたしたちの中に住むとき、わたしたちの中に、主の言葉から出てくる願いがあるようになります—ヨハネ 15:7. I ヨハネ 5:14-15 :

1. わたしたちは主の感覚に触れ、主の意図を理解します。そして自然にわたしたちの中に彼の願いを持ちます。
2. 彼の願いはわたしたちの願いとなり、彼が欲するものはわたしたちが欲するものとなり、わたしたちはこの願いにしたがって祈ります。
3. 主はこのような祈りに答えます。なぜなら、このような祈りは、わたしたちが主の中に住み、主の言葉がわたしたちの中に住んだ結果であるからです。

**VI. わたしたちがキリストの中に住み、キリストがわたしたちの中に住むとき、わたしたちは召会生活を持つことができます—ヨハネ 15:4-5. I コリント 1:2, 9, 30. 12:27 :**

A. わたしたちはミングリングされた霊の中で生きることによってのみ、真の召会生活を持つことができます。わたしたちは召会生活のために、このミングリングされた霊の中にとどまるべきです—1:2. 12:27。

B. 召会生活は、互いに愛し合う生活です—ヨハネ 15:12, 17。

C. わたしたちは、ぶどうの木としてのキリストの中に住むとき、共に枝の間ですばらしい交わりにあずかります—4-5 節. I ヨハネ 1:3-7。